

教育学	1 年・前期	1 単位	教授 平沢信康
科目カテゴリー	人としての教養	科目ナンバリング	31120031

1. 授業のねらい・概要

本講義は、教育に関する基本的知識の習得をめざして「教育」概念を再考するものである。教育の基礎論から始めて、教育の意義、カリキュラム等の語義、教育課程、教育制度、教育史等を取り上げる。

これらの学習を通して、人間社会にとって不可欠な営みである教育について基礎的な視座を獲得することをめざす。

2. 学修の到達目標

1. 教育という概念・目的および教育法規について理解する。
2. 教育の歴史的発展について概観し、理解する。
3. 識字（リテラシー）や教育課程（カリキュラム）について理解する。
4. 教育制度（とりわけ看護学との関連における高等教育や特別支援教育など）について理解する。

3. 授業の進め方

講義要旨を配布し、レジュメの文章を音読しつつ講義形式で進める。適宜、口頭試問を発して知的刺激を与え、ときには受講生の所有するスマホでの検索・読解を促して理解を補う。

4. 授業計画

1. 「教育」とは何か 辞書等の定義から	5. 教育史概説（前近代まで）
2. 「教育」の歴史・法・制度・内容の概論	6. 近代日本の教育の発展
3. 教育理論・教育課程・リテラシー	7. 医療と教育の間
4. 文化伝達・社会化と教育	8. 東井義雄と糸賀一雄—慈愛の教育

5. 成績評価の方法・基準

講義終了時（第8回目後半）に筆記試験を課す。平常点については、各回講義の内容に対する感想メモの内容に窺える関心・意欲および受講態度を評価対象とする。評価点の配分割合は、平常点（50%）、筆記試験（50%）とする。

6. テキスト・参考文献

テキスト：自作の配布プリント。

参考文献：田原恭蔵『教育概論 4訂版』法律文化社、2010年。

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

参考文献を初め、本学図書館に所蔵の本科目関連書籍について、各自1時間程度の予習復習をおこなう。

8. 受講上の留意事項

常日頃から新聞雑誌・テレビ・書物を通して教育問題に関心をもっていただきたい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

筆記試験の終了後、特に注意を喚起すべき事項について指摘した講評を掲示する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。